

証券コード 4750

# 2026年4月期 第二四半期 決算補足説明資料

---

2025年12月2日

株式会社ダイサン



# 2025年4月1日 設立50周年を迎えました

この大きな節目を迎えることができましたのは、ひとえに日頃よりご愛顧いただいておりますお客様、地域社会の皆様、株主様、そして関係者の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。従業員一同、50年間の感謝を胸に、当社パーソナルである「人と現場を守り抜く」の実現を通じて社会課題の解決に貢献し、新たなステージを目指してより一層努力してまいります。

## 設立50周年 記念行事



### フットサル大会ーありがとうのパスをつなごうー<sup>50th Anniversary DAISAN CUP</sup>

新たなステージに向けて結束力を高めることを目的に、当社で働く多国籍の従業員が言葉の壁を越えて楽しめる企画としてフットサル大会を実施いたしました。50年間の感謝を込めたコンセプト「ありがとうのパスをつなごう」を掲げ、功労表彰なども行われました。



### 記念式典

6月11日、インターナショナルホテル大阪にて、設立50周年記念式典を開催しました。式典では、功労者への表彰や、ダイサンの歴史・人・未来に関する企画を行い、多くの従業員ならびに関係者の皆様と紡いだ50年の軌跡を感じるとともに、新たな50年に向けての良き門出となりました。

# 連結範囲の変更

当連結会計年度において、非連結子会社であったGolden Light House Engineering Pte. Ltd.は、重要性が増したため連結の範囲に含めております



## 施工サービス事業

ビケ足場、レボルト等を使用した  
設計、施工サービス



## 製商品販売事業

ビケ足場、レボルト等足場用仮設機材の  
開発・製造・販売および一般仮設材の製造販売



## 海外事業

シンガポールにて主にプラントのメンテナンス向けに、  
足場工事を中心とした熱絶縁工事や電気工事などの  
付帯工事も受注する事業を展開

株式会社ダイサン

Mirador Building  
Contractor Pte. Ltd.

## 連結範囲の変更

Golden Light House  
Engineering Pte. Ltd.

## 事業内容

従来の海外事業と同じく、シンガポール  
においてプラントのメンテナンスを主と  
した事業を展開



# 目次

01 企業概要

02 業績ハイライト

03 2026年4月期 2Q実績

04 当期の見通し

05 参考資料

パーパス

## 人と現場を守り抜く

これまで我々は品質の高い足場提供により、現場で働く人の心身を守ってきた。

人手不足を始めとした環境変化により、

建設業界以外でも“働く現場”の課題は変化し続けている。

ダイサンはイノベーターとして技術・技能を駆使し、現場の課題解決を続ける。

社会での安全なくらしと関わる全ての人々の幸せを守り抜くために。

社名 | 株式会社ダイサン

設立 | 1975年4月

本社所在地 | 大阪市中央区南本町2丁目6番12号  
サンマリオンタワー3階

資本金 | 1 億円

取引市場 | 株式会社 東京証券取引所 スタンダード市場  
証券コード 4750

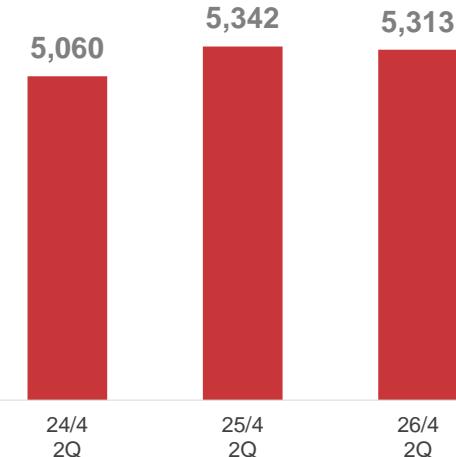
# 業績ハイライト

## 業績ハイライト

### 売上高

**5,313**百万円

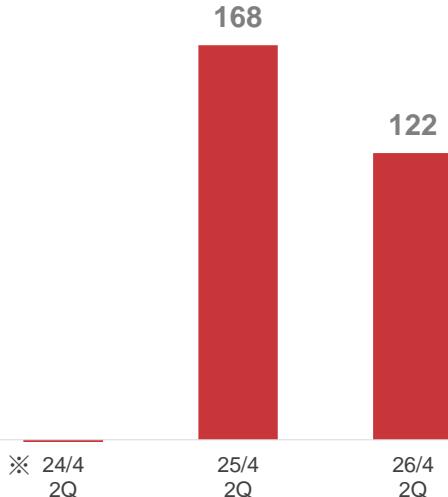
前年同期比 99.5%



### 営業利益

**122**百万円

前年同期比 73.1%



### 営業利益率

**2.3%**

前年同期比△0.8pt



※ 24/4期は営業損失のため非表示となっております

売上高は概ね前年同期並みで推移

営業利益は、連結範囲の拡大による増益効果があった一方、国内外での人的資本投資に伴う費用増等の影響により、前年同期比で減益となる



2026年4月期 2Q実績

## 連結業績概要

売上高は施工サービス事業で堅調に推移した一方、前年において法改正の影響により製商品販売事業で足場資材の受注が増加したことの反動もあり、前年同期並みの水準

ベースアップの実施、50周年関連費用等により費用が増加したため、営業利益は前年を下回る

シンガポールにおける保有不動産売却により、固定資産売却益58百万円を計上し中間純利益は前年同期比25百万円増となる

(単位：百万円)	(参考) 2025年4月期 2Q累計	2026年4月期 2Q累計	増減	
			増減額	増減比
売上高	5,342	5,313	△28	99.5%
売上原価	3,784	3,747	△37	99.0%
売上総利益	1,557	1,565	+8	100.5%
販管費	1,389	1,443	+53	103.8%
営業利益	168	122	△45	73.1%
経常利益	166	152	△13	91.8%
親会社株主に帰属する 中間純利益	136	162	+25	118.4%

# セグメント業績概要

## 施工サービス事業



ビケ足場、レボルト等を使用した  
設計、施工サービス



売上高  
**3,649百万円**

前年同期比 102.4%

## 製商品販売事業



ビケ足場、レボルト、  
枠組み足場等足場用仮設機材の  
開発・製造・販売および一般仮設材の製造販売



売上高  
**530百万円**

前年同期比 86.0%

## 海外事業



シンガポールにて  
主にプラントのメンテナンス向けに、  
足場工事を中心とした熱絶縁工事や  
電気工事などの付帯工事も受注する事業を展開



売上高  
**1,102百万円**

前年同期比 97.5%

その他 業務受託及び保険代理店ほか

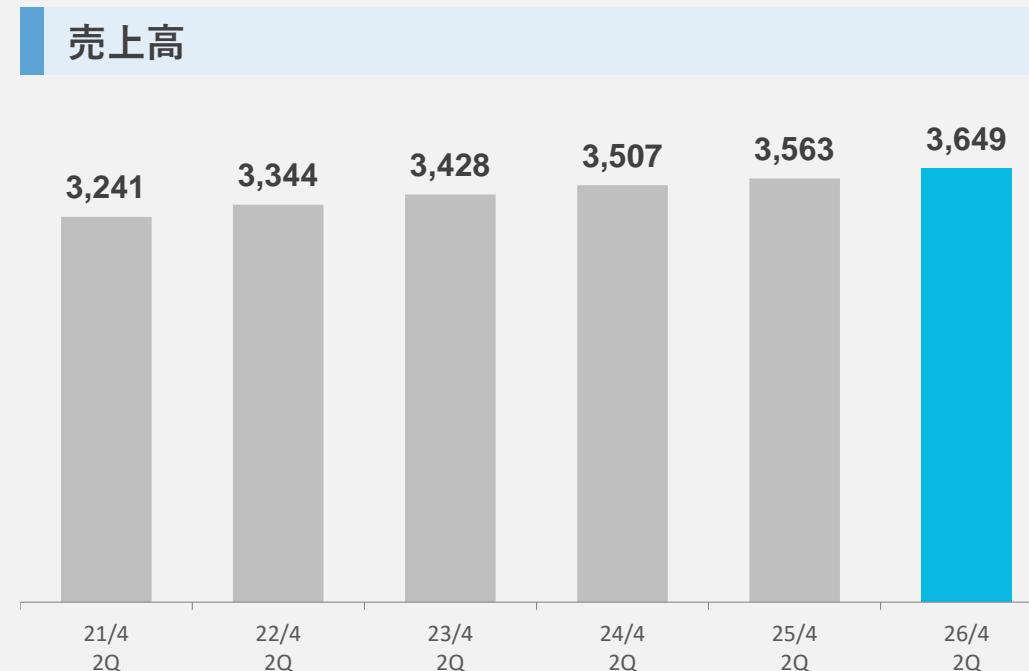
# 施工サービス事業 業績概要

(単位：百万円)	(参考) 2025年4月期 2Q累計	2026年4月期 2Q累計	増減	
			増減額	増減比
売上高	3,563	3,649	+86	102.4%
売上総利益	1,040	1,027	△12	98.8%

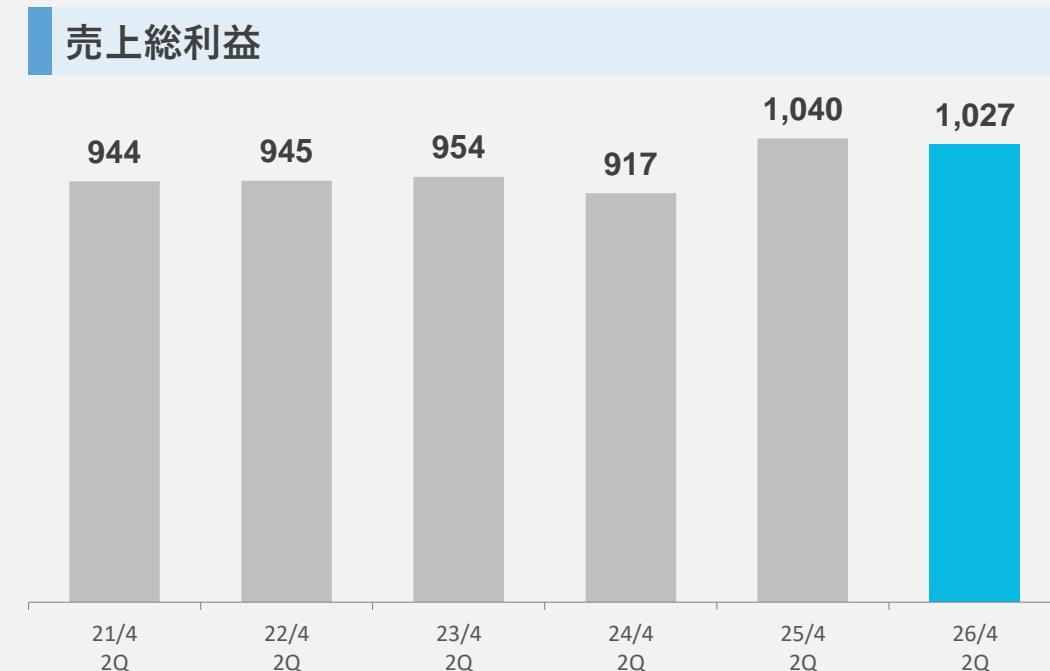
(単位：百万円)

(単位：百万円)

売上高



売上総利益



# 施工サービス事業 商品別売上高



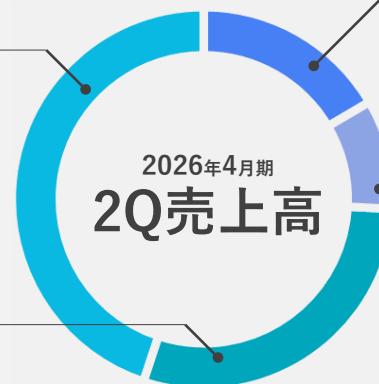
注文住宅 **44.9%**

主に施主様が土地を購入し、  
建物を建築する際の足場  
※1棟の受注が多い



リフォーム **29.3%**

増改築工事、外装工事などの  
リフォーム現場向け足場



大型建築物 **16.5%**

マンション、工場、店舗などの  
大型建築物向け足場

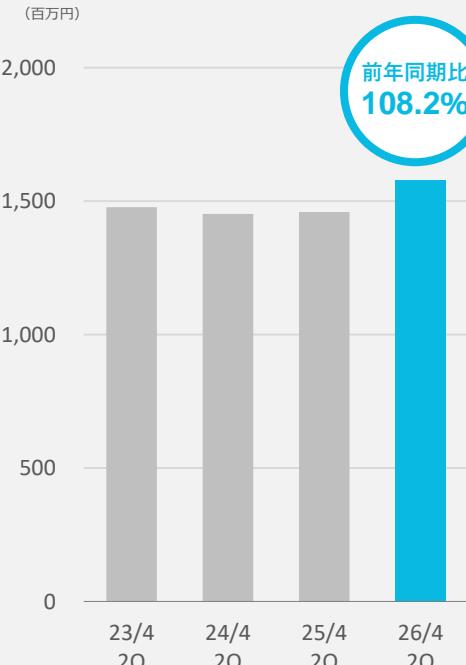


分譲住宅 **9.3%**

主に不動産会社が土地を購入し、  
建物を建築する際の足場  
※複数棟の受注が多い



## 注文住宅



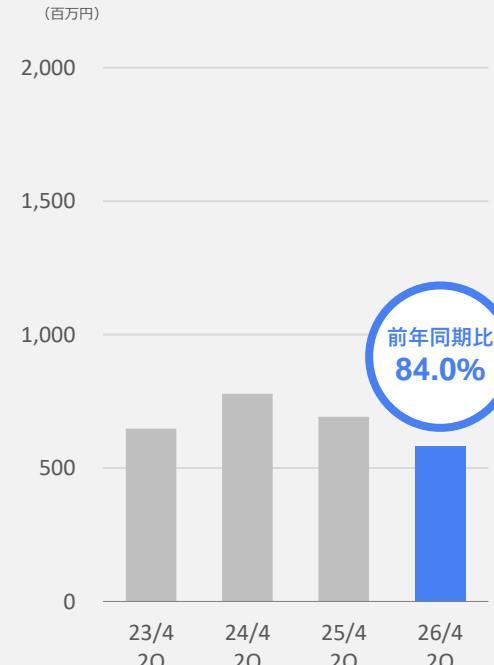
## リフォーム



## 分譲住宅



## 大型建築物

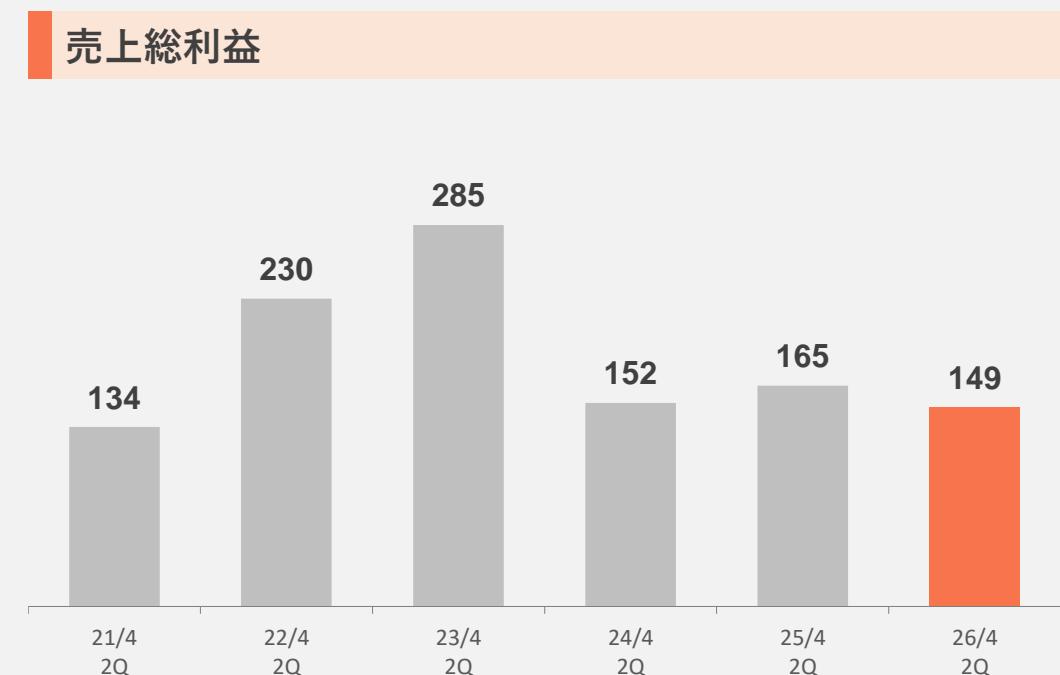
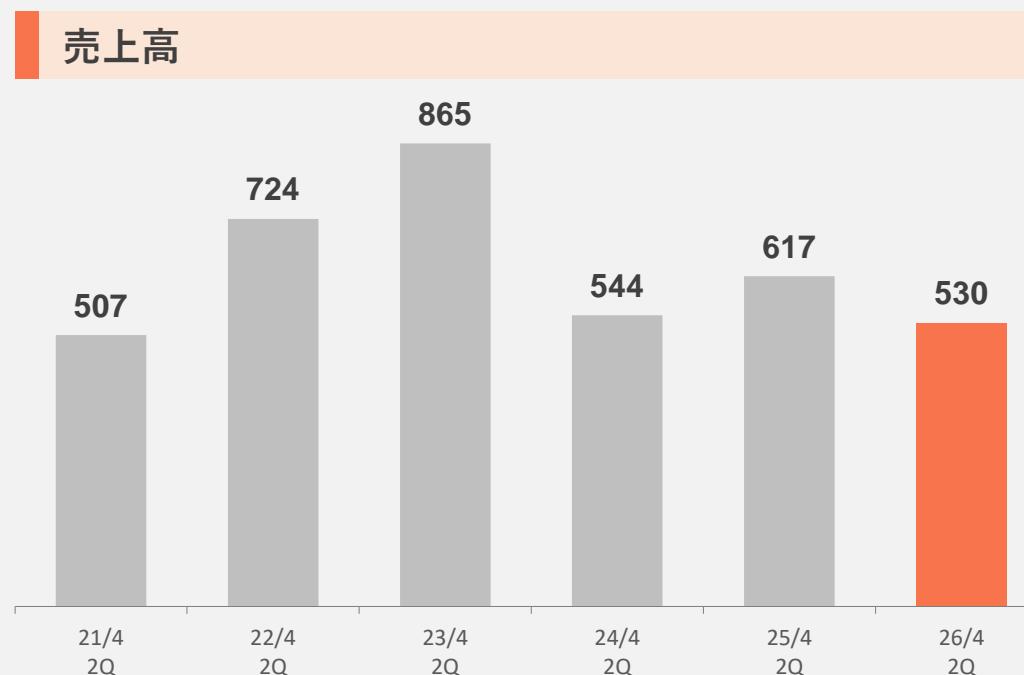


# 製商品販売事業 業績概要

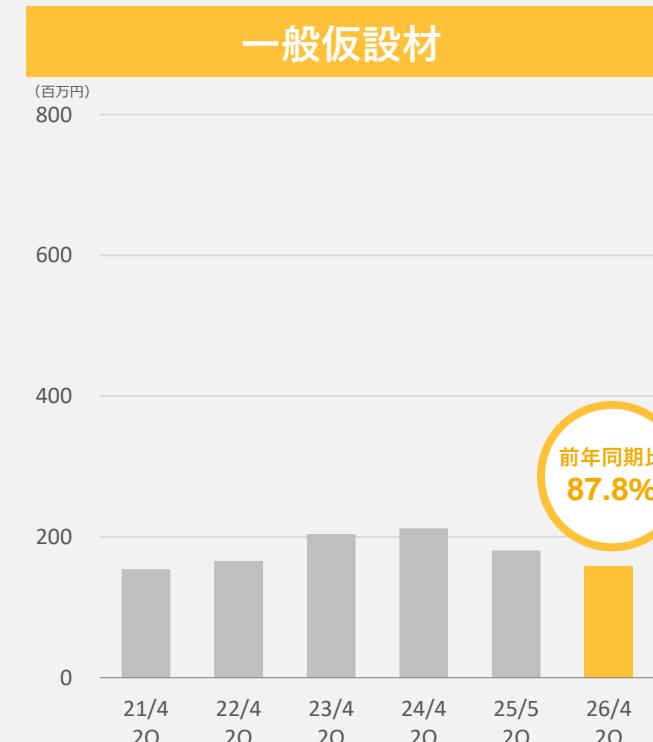
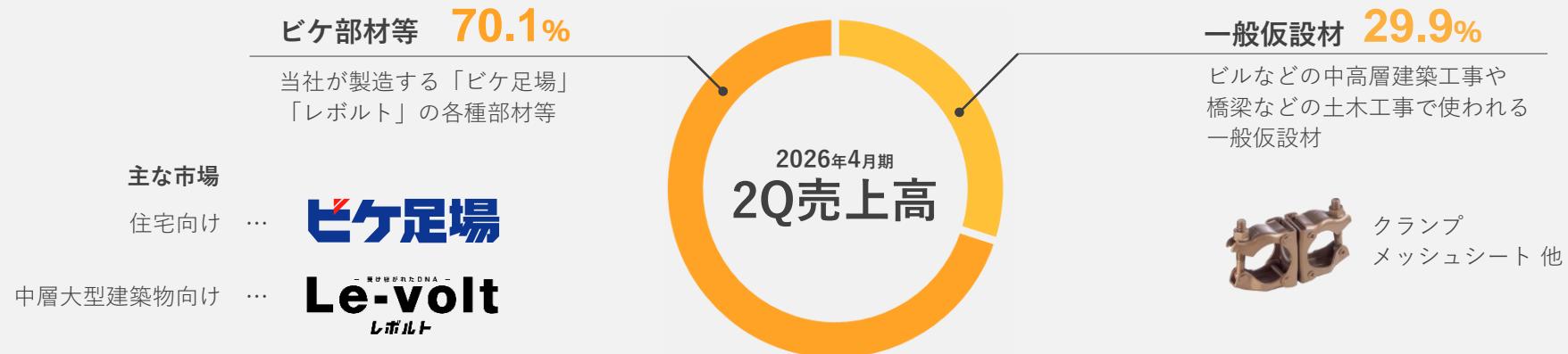
(単位：百万円)	(参考) 2025年4月期 2Q累計	2026年4月期 2Q累計	増減	
			増減額	増減比
売上高	617	530	△86	86.0%
売上総利益	165	149	△15	90.6%

(単位：百万円)

(単位：百万円)

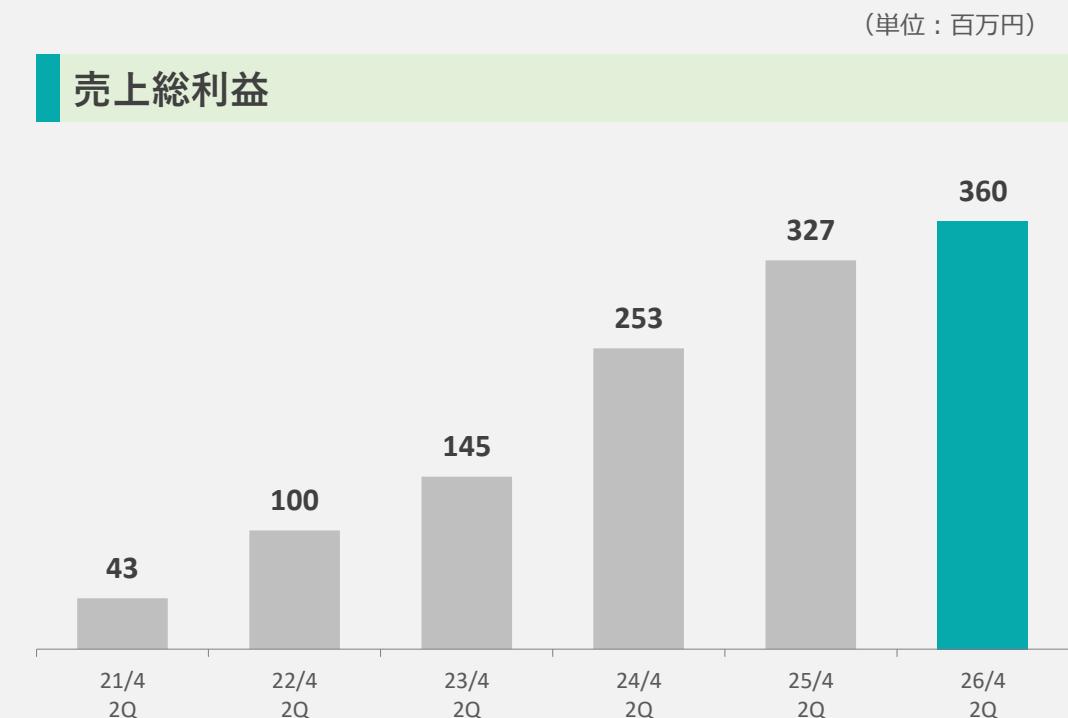
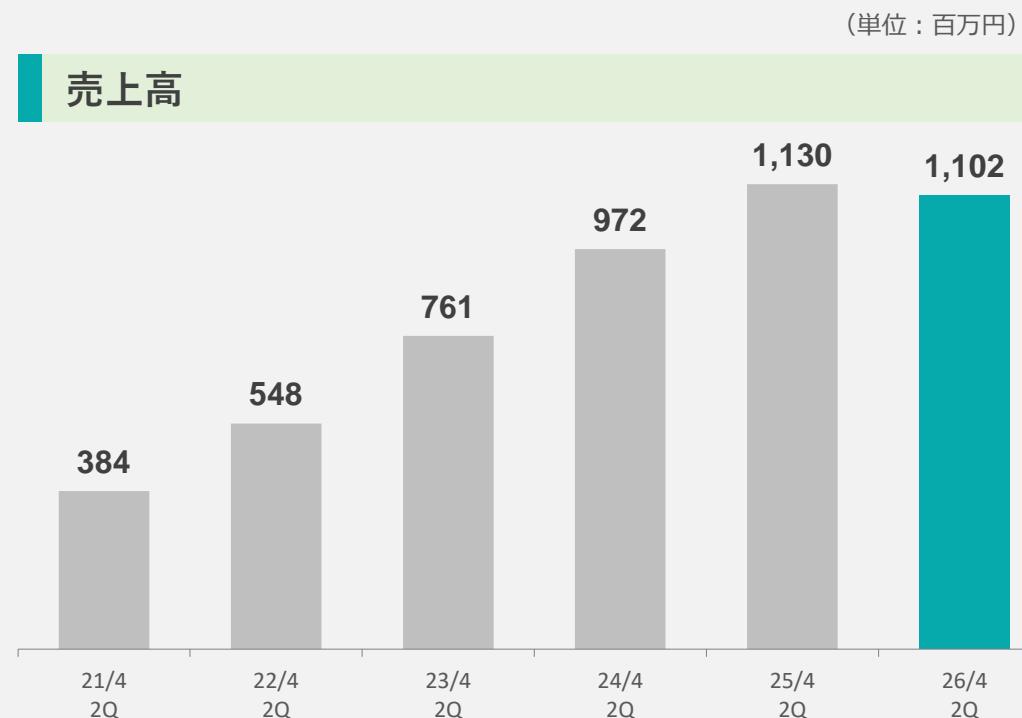


# 製商品販売事業 商品別売上高



# 海外事業 業績概要

(単位：百万円)	(参考) 2025年4月期 2Q累計	2026年4月期 2Q累計	増減	
			増減額	増減比
売上高	1,130	1,102	△28	97.5%
売上総利益	327	360	+33	110.2%



# 海外事業 商品別売上高



プラントオペレーション 40.6%

プラントの維持、メンテナンス  
灰輸送など



清掃その他 11.9%

ビル、オフィス等の清掃業



エンジニアリング 47.5%

足場工事、熱絶縁工事や  
電気工事など



## プラントオペレーション

(百万円)

800

600

400

200

0

23/4  
2Q  
24/4  
2Q  
25/4  
2Q  
26/4  
2Q

前年同期比  
89.5%

## エンジニアリング

(百万円)

800

600

400

200

0

23/4  
2Q  
24/4  
2Q  
25/4  
2Q  
26/4  
2Q

前年同期比  
105.6%

## 清掃 その他

(百万円)

800

600

400

200

0

23/4  
2Q  
24/4  
2Q  
25/4  
2Q  
26/4  
2Q

前年同期比  
96.7%

## 財政状態

フリー・キャッシュ・フローが前期に続き安定的に創出され、借入金の返済を着実に実行  
海外事業における不動産売却に伴い固定資産は234百万円減少し、総資産は前期末比で縮小となる

(単位：百万円)	2025年4月期 期末	2026年4月期 2Q	増減額
流動資産	6,456	6,104	△352
固定資産	3,735	3,501	△234
資産合計	10,192	9,605	△586
流動負債	4,038	3,451	△586
固定負債	587	498	△88
純資産	5,566	5,655	+89
負債・純資産合計	10,192	9,605	△586
自己資本比率	54.6%	58.9%	+4.3pt
1株当たり純資産	868.01円	881.90円	+13.88円

## キャッシュ・フロー

(単位：百万円)	(参考) 2025年4月期 2Q累計		2026年4月期 2Q累計
税金等調整前中間純利益	170		212
営業活動によるキャッシュ・フロー	548		74
投資活動によるキャッシュ・フロー	△0		277
財務活動によるキャッシュ・フロー	△506		△667
現金及び現金同等物に係る換算差額	12		2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	53		△313
現金及び現金同等物の期首残高	1,697		2,219
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額	-		4
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	5		-
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,755		1,911

### 主な増減理由

#### ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

減価償却費142百万円  
棚卸資産の減少額106百万円  
賃貸用仮設材の減少額98百万円  
法人税等の支払額89百万円  
役員退職慰労金の支払額81百万円

#### ● 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の売却による収入279百万円  
保険積立金の解約による収入121百万円  
貸付けによる支出101百万円

#### ● 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の減少392百万円  
長期借入金の返済による支出106百万円

# 当期の見通し

## 当期の見通し

米国における経済・貿易政策の方向性への懸念や為替の変動、中国経済の失速、地域紛争による国際情勢不安など、依然として不確実性の高い状況が続いております。また、エネルギー価格や原材料価格、調達コストへの影響についても引き続き注視が必要な状況が続くものと見込まれます。

国内においては、個人所得の改善や雇用環境の回復などを背景に個人消費は堅調に推移しており、緩やかな景気回復が続いております。しかしながら、円安の長期化や物価の上昇基調により、先行きは不透明な状況が続くものと思われます。また、少子高齢化に伴う人口減少や熟練技術者の引退による労働者不足が想定され、人材確保に向けた取り組みが益々重要となっています。

これら国内外の経済見通しを踏まえ、当社グループでは第4次中期経営計画の方針を「Reborn」と掲げ、建設業界へのイノベーションを創出し、継続的な事業拡大と持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

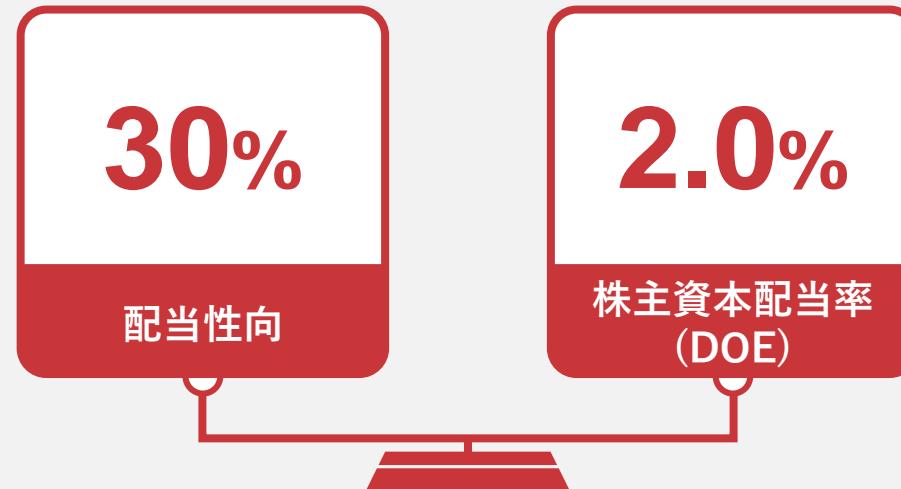
(単位：百万円)	(参考) 2025年4月期	2026年4月期 予想	増減	
			増減額	増減比
売上高	10,837	11,500	+662	106.1%
営業利益	370	420	+49	113.3%
経常利益	346	410	+63	118.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	335	330	△5	98.4%

# 当期の見通し 配当方針

---

## 基本方針

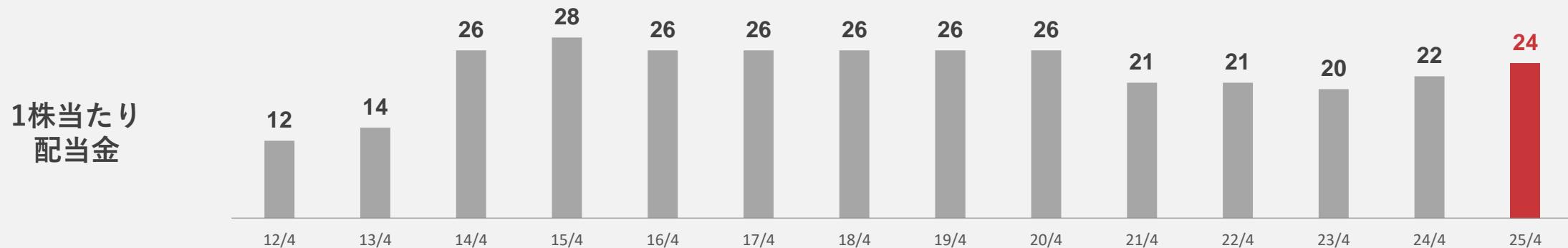
当社は、利益配分に関しましては、企業価値の向上と株主の皆様への還元の結びつきをより明確にできるよう、配当性向30%、もしくは株主資本配当率DOE 2.0%のうち、いずれか高い方を下限として利益配分させていただくことを基本方針としております。



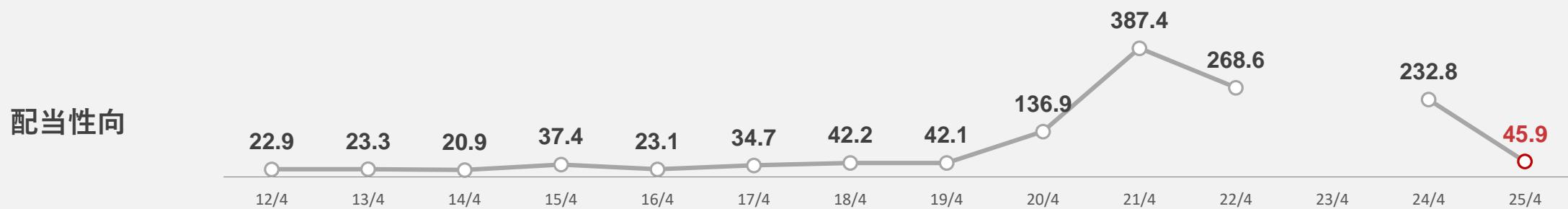
これらの方針により、当期の配当金は、中間11円、期末11円の1株当たり年間配当金22円とさせていただく予定であります。

# 当期の見通し 配当方針

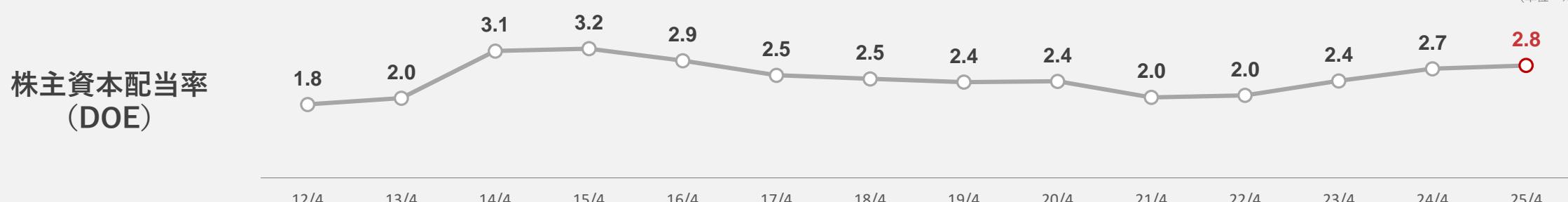
(単位：円)



(単位：%)



(単位：%)



株主資本については、配当による流出前の値を使用しております。

# 參考資料

## 参考資料

	(百万円)	20/4 (2Q)	21/4 (2Q)	22/4 (2Q)	23/4 (2Q)	24/4 (2Q)	25/4 (2Q)	26/4 (2Q)
売上高		4,952	4,169	4,653	5,090	5,060	5,342	5,313
売上原価		3,369	3,020	3,351	3,676	3,708	3,784	3,747
売上総利益		1,582	1,149	1,302	1,413	1,351	1,557	1,565
販売費及び一般管理費		1,402	1,276	1,379	1,534	1,374	1,389	1,443
営業利益又は営業損失		180	△126	△77	△121	△23	168	122
経常利益又は経常損失		186	42	△5	△66	△26	166	152
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失		81	22	7	△72	△20	136	162

	(百万円)	20/4	21/4	22/4	23/4	24/4	25/4	26/4 (2Q)
総資産		10,397	10,000	10,216	10,097	10,372	10,192	9,605
棚卸資産		868	952	1,222	1,317	1,199	913	807
流動資産		5,381	5,154	5,783	6,182	6,628	6,456	6,104
固定資産		5,015	4,846	4,433	3,914	3,743	3,735	3,501
流動負債		2,064	2,131	2,682	3,794	4,173	4,038	3,451
固定負債		1,321	1,155	967	923	844	587	498
自己資本		6,867	6,645	6,533	5,379	5,354	5,566	5,655
資本合計/純資産合計		7,012	6,713	6,566	5,379	5,354	5,566	5,655
資本金		566	566	566	100	100	100	100
負債・純資産合計		10,397	10,000	10,216	10,097	10,372	10,192	9,605

(百万円)	20/4 (2Q)	21/4 (2Q)	22/4 (2Q)	23/4 (2Q)	24/4 (2Q)	25/4 (2Q)	26/4 (2Q)
営業活動によるキャッシュ・フロー	540	△21	△14	△363	65	548	74
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,237	△78	258	△249	△19	△0	277
財務活動によるキャッシュ・フロー	810	△247	△240	△100	△207	△506	△667
フリー・キャッシュ・フロー	△696	△99	244	△612	45	547	351



## ご注意

本資料の予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

この資料で提供される全ての情報は、著作権法およびその他の法律により保護されています。無断での引用や転載、複製は禁じられております。